



# ADRC Highlights

Vol.36

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

November 16, 2001

## ➤ 韓国政府主催国際防災協力セミナー □ ADRC セミナー開催に協力



韓国行政自治部中央防災会議室での説明

これまでのADRCとの協力関係及び日韓防災協力の実績から、ADRCに協力が求められたものです。

韓国の中央政府及び地方自治体の防災関係者及び大学の防災研究者を中心にあわせて約300名が参加し、「ADRCの国際防災協力」と「日本と韓国の都市水害対策」について活発な意見交換が行われました。会議翌日には、'96年、'98年、'99年と大規模な都市水害に見舞われたパジュ市（ソウルの北西約3.5km）の災害復旧工事と内水排除のための新設ポンプ場の現地視察が行われました。

## ➤ ADRC 客員研究員レポート □ 任期を終了して フィロミナ・ミア

災害担当になることは想像以上に大変です。というも、災害行政は企画、組織の編成、スタッフの配置、調整、指導といった一般的な管理能力だけではなく、応急対策、復旧・復興、災害予防、被害軽減、災害への備えといったさまざまな災害特有の対応が必要とされるからです。

私は災害担当官として仕事を始めたときには、ほとんど災害対応の分野について知識がありません



岩手県田老町でのフィールド調査

でした。ADRCでの客員研究プログラムが、私にとって初めての災害管理についてのトレーニング・研修の機会でしたので、このプログラムに参加する機会を得ることができたことを非常に嬉しく思います。

このプログラムを通して私はさまざまなことを学ぶことができました。講義、フィールド調査、ADRCや日本にある災害関連機関の専門家との協力、国際会議への参加、ADRCメンバー国との国際協力の強化など多くの経験をすることができました。また、災害対応のためのIT技術を利用したインターネットGIS（地理情報システム）”VENTEN”について知ることができたのもとても勉強になりました。さらに、ADRCのスタッフとして日常業務を分担し、仕事の幅が広がりました。

このプログラムによって得た経験や実績は、今後パプアニューギニアに戻って、災害軽減のための業務を行う上で長く役に立つものだと

11月6日、ソウルの韓国商工会議所国際会議場で、韓国行政自治部国立防災研究所が主催、韓国防災協会が後援する「第1回国際防災協力セミナー」が開かれ、ADRC副所長の西川が基調講演を行いました。

このセミナーは、'97年9月に発足した韓国国立防災研究所が初めて開催する国際会議であり、

思います。ADRC客員研究員プログラムは、近い将来への新たな道を開き、さらなる挑戦へと駆り立てるきっかけとなりました。この期間を通じて得た専門的なアドバイスや指針によって、国に戻って災害担当官としてよりよい仕事を行っていき自信を持つこともできました。

最後に、滞在中さまざまなサポートをしていただいたADRCのスタッフに心より感謝したいと思います。まったく異なった文化を持つ国で、非常に楽しい思い出深い日々を送ることができたのは、スタッフのみなさまのおかげです。

(Philomena Miria, Training Officer, National Disaster Management Office, Dept. of Provincial & Local Government Affairs, PNG)

## ➤ ADRC スタッフ紹介 □ 主任研究員 吉村文章

今年4月よりアジア防災センターで勤務しています。専門は、土木工学で、3月までは兵庫県庁に勤務し、震災復興事業や道路、港湾などのインフラ整備を進めてきました。

1995年の阪神・淡路大震災では、震央から4kmの自宅は被災、仕事では県の土木部でインフラやまちの復興に奔走、妻の勤務する高校では避難者数が3,000人を超えるなど、公私ともに得たい経験をいたしました。



インドグジャラート視察

地震の朝、潰れた家や燃え盛る火の海の中、涙しながら出勤し、1日も早い復興を心に強く誓ったことは忘れません。また、地震後に世界各地から受けた暖かい援助、特に自分たち自身の食事をままならない国の人々からも援助を頂いたことは、今でも私たちの心を暖かくしています。あの悲しく、悔しい思いを繰り返さないために、また、私たちが寝食を忘れて取り組んだ復興の歩みなど、私たちの得た教訓を伝えることができる職務につけたことに感謝し、何らかの形で世界の方々に恩返しが出来れば幸いです。

近年、世界中で自然災害は増加の一途を辿っています。減災のためには、ハザードマップや地域の防災活動などコミュニティレベルの活動から、自治体・国レベルの防災プロジェクトやシステムづくり、そして、地球規模で進む、森林伐採や砂漠化などへのグローバルな対策まで、それぞれの段階で、できることから実行していかなければなりません。そのため、ADRCにどんな貢献ができるか、メンバー国の人たちと一緒に考えていきたいと思っています。

## ➤ アジアにおける最新災害 □ 台風 Lingling、フィリピンとベトナムを襲来

11月7日（水）午前、台風Linglingが最高時速105kmの強風を伴いフィリピンに襲来しました。台風は、激しい鉄砲水をもたらし、12日現在184名の死者が報告されています。最も被害の大きかったCamiguin地域の南の島では、79名の死者、242人の行方不明者が出ています。報道によれば、2,000世帯以上が学校や政府関連の建物に避難しました。

11月12日（月）、この台風はフィリピンに甚大に被害を及ぼした後、ベトナム中部を襲いました。時速102kmの強風によって木々が根こそぎ倒れ、多くの家屋が倒壊し、20名の死者、83名の負傷者が出ています。（11/13&11/15 国連人道問題調整事務所レポートなど）

ご意見・ご要望等があれば  
右記までご連絡ください。

編集・発行：Asian Disaster Reduction Center(アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 IHDビル3F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(230)0346 FAX: 078(230)0347

誌代・送料：無料 / 毎月2回発行（予定）